



自衛隊栃木地方協力本部

夏休みに親子で自衛隊の活動を学ぼう！航空自衛隊百里基地見学 ～上三川町自衛隊家族会～



基地見学の目的を説明される上三川町長

24時間365日の任務とも言われる自衛隊の日々の活動内容を知ることができました」などの感想があり、自治体と自衛隊との関わりや自衛隊の役割を親子で一緒に学べる有意義な基地見学となった。

真岡募集案内所は、「今後も、基地見学は自衛隊を理解して頂く良い機会と捉え、親子で参加し学べる見学会の支援に取り組みたい」としている。

「戦闘機を目の前にした小中高生からは「すごい」「かっこいい！」との歓声があり、救難機については活動内容の詳細説明に感慨深く耳を傾けながら聞いている様子が見られた。

同行した保護者からは「夏休み中なので社会科見学も兼ねて親子で参加しました。」

戦闘機を目的にした小中高生からは「すごい」「かっこいい！」との歓声があり、救難機については活動内容の詳細説明に感慨深く耳を傾けながら聞いている様子が見られた。

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は、8月23日（水）、上三川町自衛隊家族会（会長 杉山 芳男氏）主催の航空自衛隊百里基地見学支援を実施した。

今回の見学は、家族会が自治体広報誌を活用して小学生から高校生とその保護者を対象に参加者を募り、34名が見学に参加した。

出発前のバス車内では、上三川町長（星野 光利氏）が参加者にむけて挨拶を行い、「災害発生時には自治体と自衛隊の連携協力が必要不可欠です。隊員の皆さんの日々の活動について基地見学を通じて見聞と理解を深めてきて欲しい」と話した。

基地見学では、戦闘機（F-2戦闘機）及び救難機（U-125A及びUH-60）を見学した他、それぞれのパイロットから装備品説明の他に警戒態勢任務、災害時の人命救助、航空輸送等の説明を受けた。



憧れの戦闘機見学の様子



夏休みの社会科見学の 일환で参加されたご家族

茂木町まちなか文化交流館『ふみの森もてぎ』で自衛隊広報展 ～夏休み最後の思い出に・広報展と写真パネル展を同時開催～



制服試着の様子。お似合いですね

会場は、夏休み最後の休日（日）を制服試着体験などで楽しんだ家族連れや、併設する図書館での自主学習を終えた学生が立ち寄る姿も多く見られ、来場者からは「自衛隊車両を間近で見たり、制服試着の体験は子供たちの夏休みの良い思い出となりました」と大好評であった。

真岡募集案内所は「今後も、地域のコミュニケーションスポットでの広報展開催にも前向きに取り組み、地域における広報活動を継続していく」としている。

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は8月27日（日）、茂木町まちなか文化交流館『ふみの森もてぎ』にて「広報展」を開催した。併せて8月22日（火）、27日（日）、同施設展示ギャラリーで「写真パネル展」を開催した。

『ふみの森もてぎ』は茂木駅徒歩5分の図書館・ギャラリー・歴史資料展示室・交流広場・カフェを兼ね備え、幅広い年齢層の方々から訪れる施設で、広報展及び写真パネル展は昨年引き続き2回目の開催である。

広報展では小型トラック展示、制服試着、家族会主催による自衛隊グッズの販売を開催し、写真パネル展では陸海空の装備品、自衛隊の災害派遣活動及び協力者から出展協力された護衛艦等の写真を展示した。



自衛隊活動パネル展



自衛隊グッズ販売（家族会主催ブース）